

2025 陸上競技ダイジェスト

「第 78 回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会但馬地区予選会」

5 月 10 日（土）～5 月 11 日（日）

豊岡総合スポーツセンター陸上競技場

兵庫県高体連陸上競技部 広報委員会

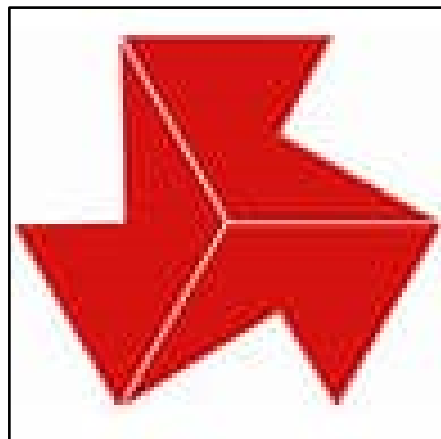
第 78 回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会但馬地区予選会は男子 9 校・82 名、女子 7 校・46 名が参加し、県大会への出場権をかけた熱戦が繰り広げられた。昨年度全日本中学選手権大会に出場した 1 年生に加え、近畿 IH や全国 IH、県ユース大会や近畿ユース大会に出場し好記録を持つ 2、3 年生の選手たちの競技に注目が集まった。

1 日目は午前から初夏を感じさせる日差しに汗が流れる状況。時おり強く吹く風を味方につけた選手たちの好記録に会場が歓声に包まれた。2 日目は曇り空のため気温は落ち着くも、湿度が高く汗がにじむ状況。大会の締めくくりに向けて全力を尽くす選手たちと応援する観客の応援も白熱した。

トラックでは男子 100m で追い風参考ながら 10 秒台の選手が予選の各組で鎬を削る好レース。予選通過記録トップの 10 秒 80 を記録したのは、昨年全日本中学校陸上競技選手権大会（以下、全中大会）に出場した竹村颯介（豊岡 1）と若槻翔（豊岡総合 2）の 2 名。続く決勝でもこの 2 名の戦いかと思われたが、予選通過記録 3 位の松本翔太（豊岡総合 3）が意地を見せ、残り 20m でわずかに抜け出し、10 秒 85(+1.1m) の好記録で優勝を果たした。

女子 100m は昨年、27 年ぶりに但馬高校記録を更新した谷垣友里（豊岡 3）に注目が集まった。昨年の兵庫高校ランキング第 6 位となる 12 秒 33 の自己ベスト記録を持ち、大会記録と但馬高校記録のダブル更新に期待がかかるレースは、スタートから大きく抜け出した谷垣が快走を見せ、12 秒 18(+2.5) で優勝し 2 年連続 V を達成した。惜しくも参考記録となってしまったが、県大会での活躍に期待ができる結果となった。男子 400m では吉田怜央（近畿大豊岡 2）が接戦を制し、52 秒 99 で優勝。女子 400m では木谷乙葉（近畿大豊岡 2）が昨年の兵庫高校ランキング第 4 位に相当する 57 秒 90 の大会新記録で優勝した。男子 1500m は土野弦太（近畿大豊岡 2）がスタートから一度も先頭を譲らず 4 分 18 秒 73 でフィニッシュ。女子 1500m は加藤世菜（八鹿 3）が淡々とペースを刻む落ち着いた走りでも 5 分 28 秒 40 の記録でゴールを迎えた。男子 110mH では西岡虎太郎（出石 1）が 18 秒 03(+2.4m) で優勝。女子 100mH は清水のな（豊岡 2）が 16 秒 66(+2.2m) で優勝した。男子 4×100m リレーでは豊岡総合（北村・若槻・柳澤・松本）が 42 秒 24 の大会タイ記録で優勝。2 走の若槻が 1 歩抜け出すと、スムーズなバトンパスで 4 走の松本まで繋ぎ、この日男子 100m で優勝した勢いそのままにフィニッシュラインへと飛び込んだ。フィールドでは男子走幅跳で小谷倫輝（豊岡 3）が風を味方につけ 2 回目の跳躍で 6m13(+1.9m) を記録。他の選手が跳躍を重ねるも、6m 台を記録する選手は出ず小谷の優勝が決まった。女子走幅跳は塚原明日香（豊岡 2）が 1 回目の跳躍で調整を行い、2 回目に 4m96(+0.6) を記録し優勝した。投擲種目は男子砲丸投で木口琉太（香住 3）が 10m72 の

全国高体連のマーク



K R A F T…力

K U N S T…技

K L A R H E I T…明朗な精神

マークの由来…ドイツ語の 3 つの K の頭文字をとったもの。「若い力とわざと明朗な精神」を象徴し、真紅の色彩は「高い理想」と「希望に燃える若人の情熱」を象徴している。



自己ベストを1回目で記録。第2位となった**伊藤逞(豊岡総合1)**が追い縋るも逃げ切る形となった。**女子砲丸投**は**木村彩花(豊岡総合2)**と**千野真央(出石1)**が1cmを刻む戦いを繰り広げ、7m23を記録した木村に軍配が上がった。**女子円盤投**は**木村彩花(豊岡総合2)**が3回目に20m46を記録し、最終投擲で21m21に記録を伸ばし優勝し、砲丸投と合わせ2種目Vとなった。

2日目は前日と比べ強い日差しもなく気温は落ち着きはしたものの、湿度を感じる状況。こもるような暑さのなか、県大会への出場権をかけた選手たちの争いにも熱が入った。トラックでは**男子200m**において今大会男子100mで優勝した**松本翔太(豊岡総合3)**が予選通過記録1位で決勝に臨み、時おり強い向かい風が吹くなか同門の柳澤との競り合いを制し、23秒09(-3.8m)の記録で優勝し二冠を達成した。**女子200m**では前日の女子100mで優勝した**谷垣友里(豊岡3)**と第2位に入賞した**城下千璃愛(豊岡総合3)**、前日の女子400mにおいて大会新記録で優勝した**木谷乙葉(近畿大豊岡2)**の三つ巴の戦い。残り20mで半歩抜け出した谷垣が25秒91(-1.9m)の大会新記録で優勝。2着の木谷も大会新、3着の城下は大会タイとなる白熱のレースを制した谷垣が二冠を達成した。**男子800m**は4着までが大会新記録となる激戦。但馬高校記録をもつ**森蒼大(豊岡3)**が積極的にレースを展開し1周目を54秒で通過。フィニッシュ目前で同門の**伊田涼助(豊岡3)**が競り合いを制し、1分55秒12の大会新記録で初優勝を飾った。**女子800m**は**谷口侅菜(豊岡3)**が2分52秒01で優勝し2年連続Vを果たした。**男子5000m**では前日男子1500mで優勝した**土野弦太(近畿大豊岡2)**が先頭集団の中で力を溜め、残り1周で先頭に立ち16分15秒95で優勝し、2冠を獲得した。**女子3000m**でも前日女子1500mで優勝した**加藤世菜(八鹿3)**が2位の選手に1分37秒の差をつける12分00秒76で優勝し、2冠となった。**男子400mH**では昨年近畿ユース大会1年生の部でこの種目第4位に入賞し、今大会では八種競技にも出場した**澤野凱音(豊岡2)**が他を寄せ付けない走りを見せ、56秒64の記録で1位となった。**女子400mH**は**清水のな(豊岡2)**が1分12秒07の記録で優勝し、100mHに続き2冠を達成した。フィールドでは**女子走幅跳**において**塚原明日香(豊岡2)**が4m96(+0.6)で優勝、**男子三段跳**にでは**小谷倫輝(豊岡3)**が13m11(+1.9)で優勝し、走幅跳に続き2冠となった。**女子三段跳**では**吉岡優衣(豊岡2)**が10m25(+2.6)で優勝し、2年連続Vを果たした。**男子ハンマー投**では井上乃愛(八鹿3)が4投目に自己ベストとなる40m58を記録し優勝を果たした。

2日間の競技日程を終え、男女ともに**豊岡高校が総合優勝**を果たした。男子優秀選手は**伊田涼助(豊岡3)**、女子優秀選手は**木谷乙葉(近畿大豊岡2)**が選出された。